



Vol. 1. For Musashi-Itsukaichi.

考案・計画 K 君

実行 K 君・遠藤晃佑

決行日 2014/11/3

執筆 中二B 遠藤晃佑



@大井町駅

はじめまして。初めて停車場で執筆をさせていただき、中学2年B組 遠藤晃佑です。
この旅行は、同伴者のK君と武蔵五日市の払沢の滝に絶景目当てで行く旅行です。

※注意!※ ※CAUTION!※

・13歳の少年が執筆した程度の文章だということを覚悟の上、過度な期待はしないで

ください。そのような文章がお嫌いな方は、とばしていただいて結構です。

- ・ 停車場を読むときは、停車場から目を 25 センチほど離し、部屋を明るくして読みましょう。あなたの目の健康を妨げる恐れがあります。
 - ・ 当時、私は写真が下手です。もし下手で下手で我慢が出来なくなっても、見捨てないでください。今ではそこそこ改善されています。~~されてるといいんだけどね。~~
- 以上のことをご了承のうえ、どうぞお読みください。



@私の最寄駅

ここで、同伴者を簡単に紹介させていただくついでに、私のプロフィールもすこしだけ載せさせていただく。

名前	学年・クラス	最寄駅	愛用のカメラ
K 君 (本人の希望により本名は伏せておく)	中学 2 年 - 組 (これも本人の希望により伏せておく)	「赤い電車に乗っかってえ〜♪」の歌で知られる電車の品川からほど近い駅	FUJIFILM FinePix SL300
遠藤晃佑	中学 2 年 B 組	渋谷から延びる某赤帯の 2 つの路線と乗り換えることが可能な路線のとある駅	LUMIX TZ-35

この表から見ればわかる方はわかると思うが、K 君は一眼、私はコンデジ (コンパクトデジタルカメラ) である。このことにひそかなライバル心を抱いていた私は、画質が私の方が勝っていたことを心の中で誇りに思っていた。しかし、後日 K 君がミラーレス一眼を買ったのを機に、すべての面において負けてしまうことになった。

あと、ここでは行程を先に載せて、その後に解説を載せる。自分的にはこっちの方がしっくりくるし、見やすいと思うので、そうさせていただく。

当日、私はちょっと寝坊して 6 時ぐらいに起きた。起きてすぐに今日が武蔵五日市に

行く日だと思いだし、すぐに前日から用意した服を着て、母が朝ごはんを作ってくれている間に支度を整えた。そして朝ごはんを食べ終わったあとすぐに、私は出発した。

品川 8:06 着

私にとっての出発の駅と、K君にとっての出発の駅はもちろん違う。

だが、2人で行く旅行の時の出発の駅、場所は、品川駅、中央改札の券売機付近、時間も8:30ぐらいとだいたい決まっている。今回もいつもの場所で8:25に集合だった。

定期が品川経由で、家から学校までちょうど1時間かかる私は、「泉岳寺と品川って、そんなに離れていないから、時間も同じぐらいでいいんじゃない？泉岳寺に行かなくなった分、時間に余裕ができるから早く着けるし。」という安易な発想で7:25ぐらいに家をでた。

品川まではけっこう混んでいた。結局座れなかった…。「仕方がない、ちょっとの辛抱だ。中央線ではきっと座れるから」と自分を励ましながら品川へ。

上の行程表からみるとわかると思うが、品川に着いたのは8:06だった。いつもの2人の旅行の時には、毎回K君が先に来ている（というか私が遅刻大魔王であるだけ）ので、密かにライバル心を抱いていた。

だから、「今回は絶対に負けないぞ！」と意気込んで家を早めに出たのだが、しまった、早く来すぎた。

待ち合わせ場所へ向かうと、そこには案の定K君の姿はない。しめしめ。

しかし、ここで8:25まで待ってるのも暇なので（私は、ケータイ、ゲーム機、スマホなどは一切持ってない。後日ガラケーを買った）、東海道線のホームで写真を撮った。

しかし、1本しか撮れず、しかもE231だった。E233狙いで来た私はちょっとがっかり。

そうこうしているうちに8:15になったので、撮影を切り上げることに。

「どうかK君が来てませんように…来てませんように！」と願いながら待ち合わせ場所に行ったら・・・いた！K君が待ち合わせ場所にいたではないか。なんだよ一、私が来たときにはいなかったのに！く、悔しい！完敗だ……。

「油断大敵」という言葉の意味を再確認した私は、「仕方がない、次回こそは！」といつも通りのやるやる詐欺の決意を心に誓った。



@武蔵五日市駅

実は、K 君は「sightman」という異名を持つほど絶景好きなので（sight→景色、man→男。つまりつなげると景色男になりますなw）、私もこの旅行には結構期待して望んでいた。実際その期待は裏切らず、きれいな景色であった。

品川 8:21 発
↓山手線 東京・上野方面行 運行番号 804G
東京 8:32 着
8:40 発
↓中央線 中央特快 高尾行 運行番号 704T
立川 9:20 着
9:24 発
↓青梅線 青梅行 運行番号 822M
拝島 9:36 着
9:52 発
↓五日市線 武蔵五日市行 運行番号 962
武蔵五日市 10:11 着
10:42 発
↓西東京バス 五里 10 系統 数馬行
払沢の滝入口 11:04 着

前回、K 君と私とあともう一人とで高尾山に行ったのだが、その時に同じく東京まで乗ろうとした山手線がものすごく混んでいたのので、横須賀線で行った。なぜ横須賀線を使ったかという、京浜東北線も混んでいたのと、横須賀線と中央線は東京駅での乗り換えが割と近いからである。

そんなことがあったので、今回はちゃんと山手線に乗れるか心配していたのだが、結果から言うと、全然大丈夫、であった。



山手線 東京・上野方面行

当初の計画では、青梅特快に乗るはずだったのだが、早く来すぎてしまったためその前の中央特快に乗ることができた。

しかし、計画にはなかった立川乗り換え（青梅特快は青梅線直通のため立川では乗り換えなくてよいが、中央特快は立川で乗り換える必要がある）の時、その青梅特快である青梅行が来たのでちょっとむなしかった。



(左) 中央線 中央特快 高尾行 (右) 青梅線 青梅特快 青梅行

さて、拝島で五日市線に乗り換えるのだが、五日市線はまだ誰も乗ったことが無い。二人とも新鮮な気分で五日市線に乗った。



五日市線 武蔵五日市行

沿線風景がきれいだったので、いくつか載せておく。



そして、武蔵五日市駅に到着した。

ここから、西東京バスに乗る。

バス停には、とても面白い難読駅名ならぬ難読バス停名があって、たとえば、「畔荷田」、

「荷田子」、それから今回の目的地、あえて読み方を書いていなかった、「払沢の滝」などである。

さて、なんと読むのか?ちなみに、「畔荷田≠あぜにた」「荷田子≠にたこ」「払沢の滝≠はらいざわのたき」だ。

ちなみに、畔荷田と荷田子は上にあげた言葉で打たないと漢字変換してくれない。払沢の滝はちゃんと正解の言葉で打っても変換できる。

正解は、「畔荷田=くろにた」「荷田子=にたご」「払沢の滝=ほっさわのたき」である。

わかったかな?

そして払沢の滝入口バス停に到着。ここから払沢の滝まで徒歩 20 分。さあ、歩こう。



西東京バス 五里 10 系統 数馬行



@払沢の滝

絶景まであと少し!というわけで歩いている。K 君と私は、絶景に期待を膨らませている。

払沢の滝の絶景は、上の写真ではわからないと思う。

なぜなら、そこに来るまでの景色が素晴らしかったからだ。

上に載せてある五日市線の車窓、払沢の滝入口バス停からここに来るまでのきれいな風景、それも併せての「払沢の滝の絶景」だと私は思う。

まあ、私の隣で歩いている sightman (=K 君。覚えているだろうか) はもうこの景色

に飽きたらしく、写真を撮るのをやめて、「まだ着かないのか……長くね?……早く着けよ……」とブツブツ文句を言っている。景色男のくせに!



※東京都です。

そして、ついに、払沢の滝が見えてきた!



そして、払沢の滝に到着した!

滝に近づくと、滝の細かい水滴からなるミストと、マイナスイオンが私を包む。

最高の気分だ。なんというかこう、自然の力強いパワーを感じる。

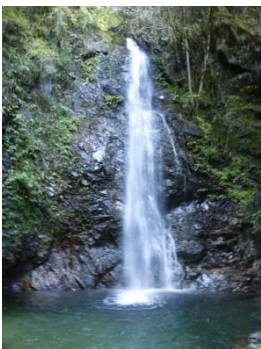
そうやって体で楽しんでいる私と違って、sightman はさっきから写真を撮りまくっている。

まあ、景色男なので仕方がないといえば仕方がないが、もうちょっと体で楽しめ、体で!

K君にかなりモッタイナイ感じながら私も4枚写真を撮る。

その間に景色男は滝のそばへ行き、30秒程度で帰ってくる。…もう何も言うまい。

もう一枚写真を載せておく。力強い感がハンパない。~~でも写真で見るとしょぼいな……。~~





第5章 さらば、絶景よ。

@武蔵五日市駅

帰りは行きよりもスマートに済ませたい。~~サボるわけじゃないからねっ!!!~~

払沢の滝入口 12:30 発

↓西東京バス 五里10系統 武蔵五日市駅前行

武蔵五日市駅前 12:49 着

/武蔵五日市 12:57 発

↓五日市線 拝島行 運行番号 1268

拝島 13:17 着

13:23 発

↓中央・青梅線 青梅特快 東京行 運行番号 1326T

東京 14:21 着

14:23 発

↓京浜東北・根岸線 快速 磯子行 運行番号 1305C

品川 14:33 着

とりあえず、画像だけのせて、何かあったらコメントする。



五日市線 拝島行



中央・青梅線 青梅特快 青梅行



京浜東北・根岸線 快速 磯子行（別日撮影）

本来なら、品川に着いてそこで解散、となるのだが、今回は、K 君と近くのベンチに行き、ゲームを借りたりして楽しんだ。

そして、解散し、私も K 君も帰宅した。



@品川駅

みなさん、私の長文・駄文にお付き合いいただき、本当にありがとうございました。

K 君が最終的な旅行案を出してから 3 日後に決行したこの旅行、期待以上でした。

この文章を読んで、払沢の滝に行ってみたいと、みなさんに思ってもらったら幸いです。

楽しい旅行を提供してくれた K 君と、この文章を最後まで読んでくださった方々への感謝をこめて、ここで終わらせていただきます。



ありがとうございました！